

1-D-1. カゴメ(株)

事例件名	調達品納品車両の帰りに製品を引き取る(帰り便トラックの活用)
理由	<p><トラック></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラック使用量の削減
狙い	帰り便活用による輸送コストの削減と必要トラック台数の削減を図る
具体策	<p>製品の輸送に調達物流(資材、容器、原料果汁、社内加工材等)をドッキングした輸送一元化 によって、工場⇔DC 間の帰り便活用の向上を図った。</p> <p>工場 → 製品 → DC(往路)</p> <p>工場 ← 資材・容器 ← 仕入先(復路)</p> <p>工場 ← 原料果汁 ← 港倉庫 (復路)</p> <p>工場 ← 社内加工材 ← 委託工場 (復路)</p>
具体的効果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 調達コストの削減→資材・容器購入単価の引き下げ 2) 車両必要台数の低減 3) 工場入場車両の低減による、工場入荷・出荷業務の効率化